

広報 ごじょうめ

発行 五城目町役場 ☎ 01885 ② 2100 (代)
☎ 018-17
秋田県五城目町高崎字雀館下川原64の4
編集 文書広報課
印刷 湖東印刷所 ☎ 01885 ② 2430
毎月 1日・15日発行 一部 35円



開園前の4月23日、町内会長・町政協力員合同会議の出席者に披露された

滝と泉の日本庭園完成

土・日曜日と祝日に開園

雀館公園の一面に日本庭園が完成し、四月二十四日開園しました。同公園の観桜会期間中の二十四日から二十九日まで、夜の八時ごろまで開放され、花見に訪れた人たちは三三五五、園内の散策を楽しんでいました。

雀館公園の地形と馬場目産の石を利用

この庭園は、雀館公園の地形を巧みに利用しており、二つの水の流れをポイントにした池泉回遊式庭園です。滝、泉、池をバランスよく配置し、滝と泉から池に注ぐ水は、いろいろな流れを形づくっています。使用している庭石は馬場目の奥地産で、滝石組という工法に従って、滝を形造るように組み合わされています。その数は二百五十四個、重量に換算すると四百二十五トンにもなります。

五十五年、五十六年度の二カ年施工で完成したもので、総事業費は約五千万円、庭園の面積は一六五六平方メートル。園内には東屋一棟、それに照明灯五基を設置しており、夜間の利用も可能です。また、入口の門は冠木門（かぶきもん）を思わせる造りになっており、周囲は白いヘイと生垣をめぐらしてあります。庭園の設計関係者は「雀館公園の地形を取り入れ、馬場目産の石を用いることによって、ローカル色を出すように心がけました」と設計の要点を語っていました。また、「通路を設けてあるので、歩きながら庭園を鑑賞できます。ながめる角度が変わることによる庭園の趣（おもむき）の変化も楽しんでほしいと思います」と話していました。

運動公園事務局の施設管理課で管理

庭園の管理は、運動公園事務局施設管理課で行っており、事務所は町民センターにあります。現在、土曜日、日曜日と祝日に午前九時から午後五時まで開園しています。平日にご覧になりたい場合は施設管理課（☎ ④ 411）に連絡してください。施設管理課では「園内にある石や草木などは、ひとつひとつ計算して配置されたものです。位置を変えたり、枝を折ったりするなどの行為は絶対しないでください」とお願いしていました。また、「大きな石がたくさんあり、池も深いところは一メートル以上もあるの、小さい子供さんだけの入園は遠慮してください」と話していました。

町内会長・町政協力員合同会議

町内会から意見や要望

五十七年度町内会長・町政協力員合同会議は四月二十三日午前十時から町民センターで、町内会長五十五人、町政協力員四十二人が出席して行われた。町当局から町四役をはじめ各部室課長が列席した。

午前中、部室課長の自己紹介、町長のあいさつがあった後、各課からの連絡事項について説明が行われた。

午後からは、町内会長会長の石川誠一郎さんを座長にして、町当局との意見交換が行われた。町内会からいろいろな意見、要望がだされ、担当部室課長がその答弁にあたった。質疑応答の主な内容は次のとおりである。

(問) 田町の戸村堰わきの道を、羽黒山さんのところから今町の通るまで四倍幅で通してほしい。

建設部長：この道路は羽黒山さんのところから五十八倍を拡張するように整備を進めているが、今町の通るまでは計画していない。しかし、戸村堰にそった遊歩道を作るといふ案もあるわけで、このようになことを考慮して今後検討していきたい。

(問) 役場新庁舎建設を記念して苗木を町内の家庭に配付するようであるが、樹種は何であるか。

町長室長：配付する樹種は十二種類である。各町内会の希望によって違いはあるが、桜、柿、おんこ、梅、桃などである。

(問) 町政協力員の役割は何にあるか。

文書広報課長：町政協力員の役割は、各町内会によっていろいろ違

としても常に婦人会や若妻会などと話し合っており、いろいろな行事に取り入れていくようにしている。

また、町の各種学級を通じて冠婚葬祭の節約運動についてピーアールに努めている。しかし、具体的な内容については実行の段階まで至っていない現状である。

(問) 町では富津内の大手に工場用地を確保してあるが、工場の誘致はできないのか。

町長室長：地場産業に刺激を与え、るとともに雇用問題の補給をしたというところで、町が大手に二町五反歩の用地を確保して、工場誘致に努めていることはご存じのことと思う。

この問題は、町議会をはじめいろいろな会合で取り上げられている。町としては一日も早く誘致を実現したいと考え、県の工業立地課や東京の秋田県事務所へも強く要請してきている。

企業誘致が遅れている理由はいろいろあると思う。雇用者が意外に不足であったり、工場に必要な水の問題、五城目町が新産業都市の区域に入っていないということなどが考えられる。

しかし、町では工場誘致の問題をけっしてなおざりにしているわけではない。関係機関に働きかけた結果として、昨年は二回、今年は三月に一回、町に進出したという工場関係者が現地を視察に来ているので、今後も関係機関に強く要請していきたい。

(問) 総合体育大会は、町民の健康体力増進などの面から考えてた

いへんよい行事であると思ってい

る。しかし、ほかのいろいろな行事も日曜日に集中するので、この大会に出場するための日程をとるのに苦慮している。それで昨年、この大会の競技種目を減らしてほしいとお願している。

また、経費もかなりすぎるので町で補助金をだすようにお願いしたが、予算措置は行っているか。

社会教育課長：今年の総合体育大会については、町内のみならずのご意見や要望をふまえて、内容をよく検討し、競技種目や日程などの変更をしている。

昨年度は八種目全部が採点の対象にしたが、今年度は八種目のうち五種目を採点の対象にした。また、二種目を一日でできるように大会を運営する。このことにより日曜日の競技日数を減らすことができる。

大会参加の経費については、個人の体力づくり、健康管理ということから、各町内会では経費のかける方法が違うと思う。スポーツの本質をご理解いただき、節約するなどして各町内会で対処していただきたい。このような観点から、大会参加の補助について予算措置はしていない。

(問) 大川保育園前の道路は、園児を送り迎える自家用車で混雑する。特に、迎えにくる車は、退園時間の十分くらい前から停車しているもので、緊急自動車を通れないような状態である。保育園の向いには大川中学校の跡地があるので、ここを整備して駐車場にできないか。

農村整備課長：農村環境改善セン

園の前に駐車場を計画している。五十七年度事業として整備するため、国に予算要求をしているわけだが、公共事業の抑制により目処がたっていない。

もし事業として取りかかれない場合は、舗装はできないが、整地して駐車場として利用できるようにしたい。

(問) 大川下樋口地区には消防用水として利用できるものに、馬場目川、真崎堰、貯水槽一カ所、それに学校のプールがある。しかし真崎堰は用水路であるので、年中水が流れているわけではない。また、馬場目川はヨシなどが生えて堤防から水流までそうとうの距離がある。

地区の消防団にはホースを十本与えられているが、場所によってはもう二、三本ホースが必要である。

消防署長：貯水槽は今年度町内に四基設置する計画であり、毎年四基くらいの割合で増設していきたいと考えている。また、大川の下樋口地区には、近いうちに設置したいものであると思っている。

ホースは、各分団のそれぞれの班に新しいものを十本配付している。

現在のポンプの能力から考えて十本配付したが、それ以上の場合でも水を上げられるかよく調査して配付の本数を再検討したい。

(問) 大川町内会は世帯数が二百四十戸以上あり、四区からなっているが、補助金の不公平さを感じているが、四つの町内会がまとまっているという考え方で支給していただけないか。

産業部長：五城目町でまだ仕上

文書広報課長：大川町内のような例はたくさんある。大きいところでは湯ノ又、浅見内、富津内の富田などは各区に分かれていて、会長が一人である。また、上樋口、岡本などはそれぞれ分かれていて会長が二人いる。一町内に一会長ということは統一されていないので、上樋口や岡本のようにになった場合は検討したいと思う。

補助金は平等割の五千円に世帯割一戸二百九十円、町政協力員一戸三百五十円を補助して、不平等にならないように配慮している。

(問) アメシロの駆除は、発生の確認のあった地区から行ってほしい。大川地区のように広範囲のところは手遅れになることがある。

産業部長：アメシロの駆除については、手続きや対応の仕方でご迷惑をかけたかもしれない。最近、アメシロの発生が下火になってきているが、先入観からアメシロでないものを誤認する場合もある。

したがって町としては、アメシロの発生する時期以外については係員を派遣して確認させている。このような関係でいろいろ手落ちがあったと思うが、今後はこのようないことがおこらないように努めたい。

(問) 森山からの眺望はすばらしいが、町民はこのことをよく知っていないのではないか。また、町内にいろいろつばな施設などがあるのも、もっと町民にピーアールする必要があると思う。

産業部長：五城目町でまだ仕上

っていない面などあつて、町を宣伝する観光リーフレットの印刷

をひかえていたが、今後このようなものを作った五城目町を宣伝したいと考えている。森山についても同様に宣伝に努めたい。また、前平山に資料館を造る計画がある。その下は四渡園で、十三番の石碑が立っており、町の観光地のひとつにしたいと考えている。

(問) 上山内の佐々木商店向いの側溝がジャリで埋まっているが、側溝のふたが重いので作業がむずかしい。町の方でジャリを取り去ってほしい。

建設課長：道路、側溝の維持管理については、町道は町、国道や県道については秋田土木事務所が行っている。土木事務所では五城目に三名の駐在員をおりており、さうそく事情を説明して対処していただく。

ご指摘のように工事などによって側溝が埋まっているところがあるかと思うが、このような場合は町か、土木事務所の方へ連絡してほしい。

町では青空号を設置して、町内の清掃などを行っているが、国道や県道まで手がまわらない現状である。

(問) 公民館内川分館は、老朽化し、現在は湯ノ又の部落公民館を代用している。内川地区では社会教育の場である施設の建設が遅れているように思える。

社会教育課長：公民館内川分館が老朽化して危険な状態であったので、湯ノ又の部落公民館を分館として使用させてほしいとお願いしたところ、快諾いただいて感謝している。

町では旧小学校跡地に内川分館をも含めた建設計画を持っているので、何年度着工ということではできないが、近い将来ということでは期待していただきたい。

産業部長：産業部では、公民館分館ということではなくて、内川地区の拠点となる施設を造る計画を持っている。この計画は第三期山振事業で、多目的な大きな集会所を造り、またモデル事業で農村公園を併設しようというものであるが、臨調の関係がありいましばらく待ってほしいと思う。

(問) 町は特産物の導入、育成を図るため、試作圃を設置するようであるが、作物の品種など具体的にはどのように行うのか。

農政課長：転作物物の選定については、町でも苦労しており、本町に適した作物を見いだすために、今年、試作圃の制度を設けた。作物の例としては、シドケ、水

ブキ、山ワサビ、アサズキとかいろいろあるが、意欲ある農家の希望をとって、その中から作物を選定する。試作圃の設置については町が農家に委託するという方法で行う。

助成は十アール当たり十万円となっているが、五畝歩の場合は五万円、三畝歩は三万ということである。

(問) 名義人の誤り、それに対する処理の不備もあり、国土調査の結果に疑問を持っている。中村地区にはこのような例が数件ある。建設部長：ご指摘のとおり二、三

誤りがあるようで、現在その修正にとりかかっている。

(問) 町では、職人の後継者問題について、具体的な対策を考えているか。

商工観光課長：五城目は職人の町であり、町でも後継者の問題では心配している。

いろいろな制度があり、若い人たちが技術指導をうけられるようになっていく。しかし、後継者がいなければこのような制度を利用することができないので、町としても仕事を進めていくうえで障害になっている。それで、学校を卒業した人たちが、職人の仕事に関心を示すように、いろいろな機会を通して働きかけたいと思っている。

今後、それぞれ業種の職人さんたちと話し合いながら、職人の町であるといえるような雰囲気を作っていくたいと考えているので、関係者のご協力をお願いしたい。

(問) 県道五城目・真坂線の細越坂の整備は、現在行われていないが、今後の見通しはどうなっているのか。

建設課長：県道五城目・真坂線の工事は用地などの関係で未完成の状態である。

県では、五十年に一度に着工しているが、用地問題の解決しないところがあり、予算措置してあったにもかかわらず、工事を進めることができなかった。まだ話し合いがつかない用地があるため、今年度は早目に県から交渉に来ていただき、早期に完成させたいと思っている。

(問) 恋地スキー場のそばに建設中の地域休養センターは、六月末に完成するというところであるが、この施設の利用方法、管理運営はどのようにするのか。

産業部長：新農業構造改善事業で造っている地域休養センターの建物、六月末に竣工予定であるが、周囲の整備を完了するのは十一月ころになる予定である。

本格的に利用できるのは、スキーシーズンになると考える。それまでに具体的な利用方法を考える必要はないが、当面はスキー客が利用することになる。また、事業の主旨からして、地域のみならずの休養の場、研修の場としても使用していただきたい。

私個人の考えとしては、通年観光に結びつけて活用したいと思っている。スキー場の牧草を利用して小動物を放牧することなどを考えている。このように今検討中であり、具体的な利用方法については明言できない。

(問) 県道の馬場目線(県道秋田・八郎湯線)について、昨年測量を行ったようであるが、今年度の計画はどのようになっている。

建設課長：県道秋田・八郎湯線は恋地のバイパスについては、五十七年度に完工することになっている。水沢から恋地間については、水沢から荷背峠まで用地買収を完了している。引き続き用地買収をトンネル予定地まで行う予定である。

(問) 杉沢小中学校の西口通路路は、農村モデル事業で整備するということであったが、着工はいつごろになるのか。

農村整備課長：杉沢小中学校の通路は、二年目の工事を完了している。三年目の工事は、杉沢部落の下端から営林署の土場付近まで行う予定であり、三年目で全体の三分の一という進捗状況である。これから通路まで全線完了するには、今までの予算ペースで考えると、四、五年はかかる計算になる。ただ、これからの予算配分などを考慮して、早期に完成したいと思っている。

(問) 福寿さんさんのところの交差点は、雨が降ると下水溝から水があふれてしまうので困っている。

建設部長：この件については、県の方に連絡してある。

下水溝の水があふれないようにするため、県の方では現在埋めてあるU字溝を取り去って改修するというところであった。県と改修の約束はしてあるが、できるだけ早く工事にとりかかるように催促したい。

(問) 町(県)民税などの納税は、口座振替でもできるとのことであるが、この件について税務課では各納税組合に通知してあるか。

税務課長：町税の口座振替については、昨年の六月ころから、各納税組合長さんへは説明してきている。また、五十七年度分から実施することについても連絡済みであり、ご協力もお願いしてある。

(問) 「五城目町」の看板が八郎湯町の十字路に建ててあるが、大川地区が国道七号線添いに位置し

ていることから考えても、場所として不適当に思える。

産業部長：五城目町の玄関とも言える場所についてであり、非常に大きな問題であるが、商工観光を担当しているのが、町のピーアールという面からお答えする。

ご指摘のように五城目町の玄関が変りつつあるのは事実である。大川出張所付近から石崎へ入る道路を、モデル事業ですばらしい道路に改修する計画があるが、何年後になるかははっきりしていない。この計画が実現した場合に、五城目町の玄関が、大川出張所付近にあるか、国道二五五号線の井川町のところにするか検討しなければならぬと思う。いづれにしても現在の場所を変更すべきであろうと考えている。

(問) 地域の大きな医療機関である湖東総合病院が、現在いろいろと問題になっているが、町としてはどのように受けとめているか。

町長：湖東病院の件に関しては、町でもたいへん関心をもち、いろいろな情報を集めるなどして、いろいろな事態に対処できる態勢をとれるようにしている。

ただ、抜本的な再建策は、経営が町でないのとれないが、知事と連絡をとりながら、どのような方法で対応したら一番地域のためになるかを考えたい。

先日、湖東病院の問題について知事と話し合ってきたが、現在詳しく申し上げる段階にはなっていない。しかし、けっして無関心で座視していないということをお伝えしたい。

小林・伊藤両氏

晴れの叙勲

五十七年春の生存者叙勲が、四月二十九日発表された。秋田県の関係者は、県内外を含めて七十一人、五城目町からは農業振興に功労があったとして小林富蔵(71)氏と消防功労者の伊藤次郎(61)氏ともに富津内出身の二人が受章することになった。

●勲六等単光旭日章

小林 富蔵(富津内)



小林さんの受章対象となった功績は、三十三年間にわたる農業共済組合活動を通じて農業経営の安定に尽された努力が認められたもので、経歴は次のとおりである。
昭和二十三年六月富津内村農業共済組合理事に当選、以来二十五年には同組合副組合長、二十九年四月に同組合長に就任、三十二年三月町内五組合合併後の副組合長に就任、十年間同職で活躍した。その功績が認められて、四十三年一月福岡恒太郎組合長急逝の後を継いで組合長の職に就く。五十六年八月湖東部農業共済組合を発足させるためエネルギー行動は他町からも高く評価され、同組合長に推され第一線で活躍して

るが、その行動力は若者をしのぐものがある。小林さんは町功労者でもあるが、その経歴は議会議員、教育長など十指におよぶほか、詩集を出版するなど文学面でも名をはせている。自宅では、夫人と長女夫婦にお孫さんの五人暮らしである。

●勲七等青色桐葉章

伊藤 次郎(富津内)

伊藤さんは、五十五年十二月、団本部分団長を最後に三十四年間にわたる消防活動に幕をおろしたが、この間の卓抜な着想とその活躍が認められてこのたびの受章となったものである。

分団区域内の火災予防のために高干、落合、脇村の各部落の少年夜警団の育成指導に努め、昭和三十三年(高干)、同三十四年(脇村)、同四十年(落合)それぞれ県知事表彰を受けている。



昭和三十三年所有地を無償提供して消防道路兼産業道路を完成させたことは、当時町内における画期的なものとして注目されたほか五十五年十月には防火水そうの築造の整備に大きく貢献した。

そのほか、昭和四十四年分収林契約をして、消防林(杉三千本)を育成、消防活動の貴重な財源を確保するなど画期的な構想が高く評価されている。

消防訓練大会においても、男鹿南秋支部代表として県大会にのぞむなど、その指揮統率ぶりは衆目の認めるところで、消防団員の規律教育にはかけがえのない幹部であった。自宅では花美夫人と二人暮らしであるが、毎月お孫さんの顔をみるのが楽しみだという。

社会教育関係 委員の委嘱・任命

町の社会教育関係の委員が四月九日で任期満了になり、教育委員会は、このたび新たに委員の委嘱任命を行った。各委員の任期は二年。

お名前はこのとおり。

▽社会教育委員会委員

- ・学校の長
村井 金作 藤盛 豊治
- ・社会教育関係団体の代表者
伊藤 花美 笹川 兼清
- ・学識経験者
本間 作治 小林 富蔵
渡辺誠之助

▽五城目町公民館運営審議会委員

- ・各学校の長
堀 彦一郎 伊藤 義男
石井 武 伊藤 隆
畠山 重悦 斎藤 静夫
- ・各機関団体の長
安達 悦郎 伊藤 容一郎
安東 誠 佐藤 幸
小野みち子 中村清次郎
- ・学識経験者
草皆 宏子

猿田日出男 佐藤勝太郎
今村 房蔵 一関 勝己
石井 有保 沢田石栄之助

▽体育指導委員会委員

- 宮川庄太郎 荒川 要悦
大石 喜郎 佐藤 俊朗
畑沢 正作 貝田日出子
伊藤 令子 加藤 政光
石井 勝博 荒川 達雄

▽五城目町公民館分館職員

- ・五城目分館分館長 小川 秀雄
主事 渡辺 正志
主事補 鍋谷 鶴芳
- ・馬川分館 同 栗山 隆一
分館長 三浦 俊蔵
主事 館岡 昭雄
- ・森山分館 分館長 伊藤 誠
主事 大宮 繁明
主事補 永沢 嘉典
- ・馬場目分館分館長 石井 悦郎
主事 草皆 純光
主事補 越前 義和
- ・富津内分館分館長 阿部 昭
主事 小林 正志
主事補 伊藤 俊悦
- ・内川分館 分館長 松橋健治郎
主事 沢田石栄一
主事補 松橋 努
- ・大川分館 分館長 佐藤 良治
主事 工藤 卓美
主事補 藤田 薫
- ▽生涯教育奨励員
中村清次郎 小野 一二
小玉 正文 小玉 勇悦
松橋 武 伊藤 鉄郎
渡部 薫 伊藤 容一郎
伊藤 久夫 石川美喜夫
加藤 信哉 北嶋 英俊
小野 久 北嶋 松男
石井 忠光 斎藤 妙子
泉谷 弘子 藤井 シガ
草皆 宏子 石井三千代

五城目町 草創と変遷

石井 金之助

総桐たんす

三方桐たんす登場(上)

私は大正七年、郡立準教員養成場を卒業したが、家庭の事情で志望を替え、父の許で指物業に就いた。

大正十年に父が亡くなった。杉たんすや前桐たんすばかり作っておいても、五城目たんすの品質が芳しくないで、母とも相談し、作り方を覚えたら早く帰ることを約束し、本格的な桐たんすを修得するために、大正十一年一月二十八歳の時、笈(きゅう)を負うて満山雪に埋もれた故郷をあとにした。東京市本所区で桐たんすを製造していた叔父鳥井善吉を頼りに上京した。

初めて見る東京の桐たんすの本地、証目の通った引出がいくついているか判らないピシッと締った桐たんすに感嘆した。このような桐たんすを扱っては作れるようになれるだろうか、と不安にかられたのであった。

叔父鳥井善吉は大正二年に県立能代工業講習所(県立能代工業高校の前身)第二期卒業生で秋田市本町六丁目の有力な某たす店に嫁入りした。しかし、子供を一人亡くしてから、ひそかに志をたてて上京し、当時東京でも一流の三田の吉徳たんす店に入った。吉徳は高級たんす製作の有名店で、総桐証目のたんすや、引出の引手に九金を使ったたんすも作ったりした由。

その後、叔父は本所区に独立して職人や弟子を使い、桐たんすを専門に製作していた。仕事は非常に厳しく、叔父甥(おい)の間でも呵責(かしやく)なく指摘され、時にはひそかに涙を流したこともいく度あった。

しかし、家には弟妹六人も置いてきていたので、歯をくいしばって背水の陣を敷いて、一日も早く覚えるために、食事と眠る時間以外はほとんど修業した。師匠に「秋田の田舎で杉たんすを一日に一組でかしても一人前ではない。東京では売真という職人は総桐たんすの五はい(五つ引出)を日に一本仕上げるんだぞ。これは東京一だが、東京一は日本一だ」と励まされた。

当時は現今と違って、接着は全部飯糊で、朝起きるとすぐ茶碗で二つ糊をねり、桐板を両面木焼きして曲りを直し、湿りを去り、板を薄く削るのを恥としたもので、師匠は七分の板は七分に仕上げると言ったものである。七分板でも挽(ひ)き曲りで二、三厘厚い板を前口に使って、内側だけサツとならし、側を組立ててから外側を仕上げ七分にでかした。

現在は機械で削るので、一位は鉋屑(カンナくず)となつて飛んでしまうのが平気で、誠に惜しい板を殺して使っている。桐板だけは私は今でも厳しく注意して、板を活かして作らしている。当時、東京では接着面には竹の相釘を使ったものである。

風しんに注意！

妊娠予定者は抗体の検査を

昨年から流行のきざしが見えていた風しんは今年にはいつてさらに増え続けており、今後本格的な流行になることも予想されます。風しんの怖さは、免疫のない女性に妊娠初期にかかりやすと、目、耳、心臓などに、障害をもった新生児を出産する可能性があること、この点十分注意することが必要です。

風しんは「三日はしか」とも呼ばれ、麻しん（はしか）、水痘（水ぼうそう）と並んで小児の代表的な、発しん性ウイルス性疾患です。その主な症状は、発熱と発しんがほぼ同時に現われ、耳の後のリンパ節がはれるのが特徴です。通常

常四、五日でなおりますが、全く気づかずに終ってしまふ場合もあります。また、極くまれに脳炎などになることもあります。小児の場合一般に軽症で、特別な治療もほとんど必要ありませんが、成人の場合は一般に小児より症状が重くなります。免疫のない女性が妊娠初期にかかりやすと、新生児に目（白内障、小眼球症、網膜病変）、耳（聴覚障害）、心臓（動脈管開存、心室中隔欠損）などの欠陥や知能障害などを生じることがあります。これらの症状を総称して、先天性風しん症候群と呼んでいます。発生

報告はありませんが、妊娠一カ月で三〇～五〇％、二カ月で二〇～三〇％、三カ月以降で一〇％以下といわれております。後半期に入れば奇形としての異常が生じるおそれはないとされています。

風しん自体は軽症であり、特別の対策は必要ありませんが、先天性風しん症候群の未然防止は大切です。風しんは、昭和五十二年から中学生の女子にワクチン接種が義務づけられましたが、何らかの理由でこれを受けなかった方、またかかったことのない方でこれから妊娠を予定している人は、血清検査で抗体の有無を確かめてください。この検査を希望される人は、役場保健衛生課（電話二二一〇〇）へご連絡ください。町の指定医療機関で検査と保健指導が受けられます。

▼対策

風しんの予防接種は、生ワクチンなので、軽く病気になるのと同等ですが、接種にあたっては、次のいずれの要件をも満たす場合に限られます。

胃部集団検診

胃部集団検診を次の日程で行います。当日、都合の悪い人は他の所で受診してください。

受診料金は七百五十円です。

▼時間 午前5時～7時30分

【六月一日】 消防署前

新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、上田町、田町、東・西磯ノ目町

【二日】 消防署前

今町、御蔵町、小池町、築地町

【三日】 消防署前

米沢町、仲町、新畑町、長町、

矢崎崎、畑町

【四日】 消防署前

川原町、一番町、新町、中川原古川町、紀久栄町

【七日】 役場前

昭辰町、雀館、館町

【八日】 杉沢公民館

杉沢、合地

【九日】 恋地公民館

恋地、坊井地

【十日】 中村公民館

中村、寺庭、平ノ下、小野台、水沢

【十四日】 馬場目地区全域 馬場目児童館

馬場目地区全域 馬場目児童館

結核検診を

受けてください



結核検診のレントゲン撮影を行います。日程は次のとおりです。当日、血圧測定と尿検査もあわせて行います。

なお、料金は無料です。

【五月二十四日】

新里町 前9、10、9、30

新里町集会所前

広ヶ野、希望ヶ丘 9、50、10、20

伊藤市太郎宅前

田町 10、40、11、40

佐々木広志宅前

上田町 後1、10、1、30

坂谷芳博宅前

御蔵町、今町 1、50、2、20

小浜薬局前

川原町、小池町 2、40、3、10

工藤電機商会前

【二十五日】

昭辰町、雀館 前9、10、9、40

坂谷商店前

10、00、10、30

斎藤商店前

一番町、新町 10、50、11、20

川端会館前

11、40、後0、10

尾形勇蔵宅裏

古川町、紀久栄町

後1、30、2、10

栗山タミ子店前

新畑町 2、30、3、20

農協前

新畑町、畑町 前9、10、9、30

五城目営林署前

畑町 9、50、10、30

南秋製材所前

古川町、紀久栄町 10、50、11、50

丸富旅館前

縮町 1、00、1、30

旧石川旅館前

中川原 1、50、2、10

門間精肉店前

岩城町 2、30、2、40

老人ホーム前

老人ホーム 2、40、3、30

老人ホーム前

【二十六日】

仲町、長町、米沢町

9、10、10、00

武石自転車店前

仲町、米沢町、畑町

前10、20、11、00

宮田商店前

築地町、畑町 11、20、11、50

荒栗商店前

古川町、紀久栄町 後1、20、2、00

渡辺印舗店前

雀館、昭辰町、役場

2、20、3、20

役場前

【二十八日】

西野 前9、10、9、40

小玉商店前

四ツ屋

10、00、10、20

伊藤キヨ宅前

石崎 10、40、11、00

加藤商店前

谷地中 11、20、11、50

公民館前

あけぼの町 後1、00、1、20

佐藤商店前

下樋口 1、40、2、10

嶋崎米吉宅前

大川一、二区 2、30、3、10

加藤商店前

【三十一日】

大川一、二区 前9、10、9、50

北宇商店前

大川三、四区 10、10、10、40

八柳甚吉宅前

岩城町 11、00、11、30

伊藤六之助宅前

浦横町 後1、00、1、30

小玉孫右エ門宅前

老人ホーム 1、50、2、20

公民館前

岡本一区 2、40、3、10

一関商店前

【六月一日】

岡本二区 9、10、9、40

千田商店前

野田 10、00、10、30

公民館前

下山内 10、50、11、20

小林万太郎宅前

上山内 11、40、後0、10

末広入口前

富田 後1、20、2、00

部落公民館前

黒土 2、20、2、40

公民館前

私の旅 ④

お父さん私ですよ!! きこえますか

— ファイリピン巡拝の旅 —

小玉チエ



歌手の渡辺はま子さんも同行モンテンパの歌で感涙にむせぶ

四十万人の散華に

心がふるえる

旅は楽しい—未知の世界へ夢をふくらませて出かける。だがフィリピンへの戦跡巡拝三十三回忌慰霊の旅は、一行百六人の涙、涙の哀しい緊張の一週間だった。

白木の箱に入ってきた一枚の紙切れが戦死の公報でそれを手にした肉身の悲嘆は、三十三年経った今でも、その霊の安らかにと祈る気持ちでいっぱいになる。

比島方面日本人の戦没者は約四十八万、このうち県出身の軍人軍属は一万九百四十人との事で、この巡拝団に参加した半数近く、比島戦線の生還者であった。

平和な社会になるまでは、恐れがでて来ることは出来なかったと言う。「戦友の倒れた場所、また、当時情けをかけてもらった現地人を訪ねたかった」もっと早く

慰霊に來たかったと言う。

「モンテンパの夜は更けて」

はま子の歌にとめどない涙

日本から空路四時間のマニラは、フィリピン最大の都市で、政治経済文化等の中心地をなしているだけに、近代的建物が多く、ホテルも高級な所に宿れた。翌朝早くホテルから三台のバスに分乗した一行は、まずモンテンパの元戦犯収容所に立ち寄った。

この収容所の中で、故郷をしのびながら作ったと言われる「モンテンパの夜は更けて」の歌を、同行した渡辺はま子さんが切々と唄いあげ、処刑された霊を思っっぽう沓(だ)するものを禁じ得なかった。

続いてマニラ市郊外の丘にあるカリラヤ戦没日本人慰霊園に到着。フィリピン全域で戦没した方たちの、三十三回忌の慰霊祭を行った。

比島側からも権威のある方たちが参列してくれたのをみて、戦争でのわだかまりを、よどみない時が洗い流してくれるものかと痛感させられた。

比島の山野に四十万柱以上も埋もれていると言われる故人をしのんで、サンフェルナンド、コバラカットタルラック、ダグバン、リンガ湾添いを通り、ロザリオ、バギオの山中まで足をのびし、涙の巡拝をした。

「お父さん私ですよーとうとうやつてきました。聞えますか」海岸で、そして山中で、肉身の御霊を呼ぶ声が、幾重にもこだました。

戦争で散った弟の青春

私の弟も十八歳で海軍に志願し戦艦武蔵に乗っていた。比島クラーク地方での戦死を公報の紙切れ一枚で処理された。どんな悲惨な思いで死に到ったものか、どこに埋まっているのか、掘り起して遺骨をと胸のしめつけられる思いがした。

バスから見える広大な田園は耕運機など見当らず、水牛がのんびりとしている風景だった。農家は上が人、下が家畜と云った薬ふき家で生活しておる者もあり、山村の子どもは、素足が多かった。

マニラ市では子供の物売りが多く、新聞売りの少年やら、バスをめぐって、大勢が物売りにくる。その様子にはきびしい生活が感じられた。

最後の日の夕暮れ時、マニラ湾の浜辺に立った。青春の楽しみもなく、お国のためにと死んでいった弟の魂よ安らかにと祈った。あふれる涙に、真赤な夕陽がマニラ湾に広がって見えた。

戦争は無残なもの、平和な世界を絶望した旅だった。

カメラリポート

行政監察局から感謝状

行政相談委員の活動に協力

四月十六日、秋田行政監察局から町に感謝状が贈られました。

これは、行政管理局の行政相談制度を深く理解し、行政相談委員の活動に積極的に協力したこと、感謝されたものです。感謝状の贈呈は役場町長室で行われ、鈴木秋田行政監察局長から町長に感謝状と記念品が手渡されました。

行政管理局長官から委嘱された町の行政相談委員は長谷川豊さん(一番町)で、十三年前からこの仕事に携わっています。

行政相談委員の仕事は、町内のみなさんが役所の仕事に疑問を持ったことに対して、その解決のために世話をしてくれる人です。電話や手紙による相談にも応じますし、無料です。また、相談の内容などについて秘密は守られます。



堤防に散在するゴミを拾い集める生徒たち

全校生で川をきれいに

五高生 馬場目川のクリーンアップ

五城目高校のみなさんが、四月三十日、同校前を流れる馬場目川をきれいにしようとクリーンアップを行い、堤防や川原に散在しているゴミを拾い集めました。

このクリーンアップは、郷土の環境美化と勤労体験学習の一環として、五・六校時の授業時間に行ったもので、全校生徒六百六人のほかに先生たちも参加しました。

範囲は西野橋から磯ノ目大橋までの約五百メートル、西野橋から下流へ約六百メートルの西岸で、各クラスごとに分担して行いました。全員体育着にズックという姿の生徒たちは、町のゴミ収集用袋を持って、アキカンやアキビン、ビニールの容器などを拾い集めていました。



感謝状の贈呈は役場町長室で行われた

花いっぱい運動

花苗を無料で配付

町では、町内をきれいにする運動の一環として、今年も「花いっぱい運動」を行います。町内会、学校、職場、各種団体、グループなどたくさんの方の参加をお願いします。

町の公民館では、この運動に参加を申し込んだ団体、グループなどに、サルビア、ペコニア、マリーゴールドの苗を約二百本無料で配付するとともに、花だんコンクールを行い、優秀なものを表彰することにしています。花だんは、庭や空地を利用したものだけでなく、道路（沿道）の路肩やボックスによるものも奨励しています。

また「草花苗の銀行」を開設します。これは、各家庭、団体、グループなどで育てた余分な苗を預託していただき、草花の苗を必要としている学校やグループなどにその苗を無料で配付するもので、花いっぱい運動のきれいな町づくりを活用してください。

花いっぱい運動に参加を希望する団体やグループなどは、町の公民館に申し込んでください。草花苗の銀行に苗を預託して下さる方も同様に町の公民館へお願いします。



昨年、最優秀賞に輝いた老人ホームのみなさんの花壇

▽申込み先

五城目町公民館 ② 4411

(担当者 佐々木)

▽締切り

五月二十八日

広域体育館を無料開放

毎週水曜日

毎週水曜日、広域体育館を町内

家庭の注意で防げる環境汚染

リン合成洗剤により

富栄養化が進んでいます



のみなさんに無料で開放しています。

十名以上の団体で利用する場合は、一週間前までに五城目町公民館に申し込んでください。

開放期間と利用できる時間帯は次のとおりです。

▽期間

昭和五十七年五月十二日～昭和五十八年二月二十三日（毎週水曜日に開放、ただし行事がある場合や祝日、年末年始は除きます）

▽時間帯

午前十時～正午：高齢者
午後二時～四時：児童・生徒・婦人
午後六時～八時：青壮年

書道通信講座

受講生の募集

五十七年度町民教養書道通信講座の受講生を募集しています。この講座は、講師が作成した手本を中心に家庭で学習し、提出作品を添削して指導するものです。

▽受講料

千円

▽講師

中村清次郎先生

▽申込み期限

五月二十八日

▽申込み先

五城目町公民館 ② 4411

(担当者 広嶋)



仲間のプレーを観戦するお年寄りたち

谷地中チーム四位入賞

全県ゲートボール五城目大会

第二回春季全県ゲートボール五城目大会兼東日本ゲートボール秋田県予選は、四月二十五日、雀館運動公園広場で五十一チームが参加して行われ、五城目町谷地中チームが四位に入賞しました。これで谷地中チームは、七月に行われる東日本大会に出場できることになりました。

試合はコート九面を使って予選リーグと決勝トーナメントが行われました。決勝トーナメントには五城目町からは率浦、馬川、大川チームも出場しましたが、上位入賞は谷地中チームだけでした。

▽決勝トーナメント準決勝
大湯村B 25-16 五城目谷地中
田代町A 20-19 仙北町田茂木

▽同決勝
大湯村B 39-24 田代町A

▽同三位決定戦
仙北町 37-13 五城目

商業統計調査を実施

六月一日現在で

通商産業省では、昭和五十七年六月一日現在で商業統計調査を行います。

この調査は「商業の国勢調査」ともいわれるもので、わが国の商店の分布状況や販売活動の実態および商品の全国的な流通状況などを明らかにするため、全国の卸売業、小売業および飲食店を営んでいるすべての商店を対象に行われます。

この調査の結果は、国や都道府県、市区町村における商業の育成、流通機構の近代化などの

施策を進めるうえで重要な基礎資料として多くの分野で利用されます。また、各商店が経営方針を作る際にも広く役立っています。

調査は、都道府県知事から任命された商業統計調査員が、商店を直接訪問し、調査票に記入していただいて回収するという方法で行います。ただし、飲食店のうち、バー、酒場などについては、調査員が調査事項を聞きとり、調査票に記入する方法などで行います。

提出される調査票は、統計法により厳重に秘密が守られますので、正確な申告にご協力ください。



5月23日 五城目一中運動会

お知らせ

粗大ごみ(不燃物)の集団収集を次の日程で行います。
各地域の集積場所へ指定時間前に廃品を運搬しておくようにお願いします。廃品には必ず荷札などをつけ、町内名と氏名を記入してください。処理手数料は、集積場

粗大ごみの収集

5月17日・21日

6月 ごみ収集日

町内名	1回	2回	3回	4回	5回
広ヶ野	1	7	12	18	25
新里	1	7	12	18	25
希望ヶ丘	1	7	12	18	25
田町	1	7	12	18	25
上田町	1	7	12	18	25
今町	1	7	12	18	25
御蔵町	1	7	12	18	25
小池町	1	7	12	18	25
川原町	1	7	12	18	25
新町	2	8	15	20	26
一番町	2	8	15	20	26
古川町	2	8	15	20	26
紀久栄町	2	8	15	20	26
中川町	2	8	15	20	26
館町	2	8	15	20	26
岩城町	2	8	15	20	26
築地町	3	10	16	22	27
畑町	3	10	16	22	27
新畑町	3	10	16	22	27
東磯ノ目町	3	10	16	22	27
西磯ノ目町	3	10	16	22	27
矢場崎	3	10	16	22	27
仲町	5	11	17	23	30
長町	5	11	17	23	30
米沢町	5	11	17	23	30
雀籠町	5	11	17	23	30
昭辰町	5	11	17	23	30
大川一區	5	11	17	23	30
二區	5	11	17	23	30
三區	5	11	17	23	30
四區	5	11	17	23	30
馬場目	4	14	24		
富津内	4	14	24		
大川(本村以外)	9	19	29		
面湯川	9	19	29		
馬場	9	19	29		

休み 6日・13日・21日・28日

＜直接搬入料＞

2トン未満積車	1回につき	600円
2～4トン未満	1回につき	900円
4トン以上	1回につき	1,350円

※収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ収集日程表を必ず見るようにしてください。

所で徴収します。(集積のための停留時間は十分間くらい)

▽処理手数料

テレビ	五百円	冷蔵庫	三百円
洗濯機	二百円	リヤカー	二百円
ミシン	二百円	自転車	百円
農機具、その他	二〇〇円	五十円	
(テレビはPCB「有害物質」除去料を含む)			

▽5月17日

高種	バス停留所前	前9・10
北村	〃	〃9・30
落合	公民館前	〃9・50
千日	バス停留所前	〃10・20
高田	小玉養治郎宅前	〃10・35
脇村	伊藤重美宅前	〃11・00
乙市	バス停留所前	〃11・20
台御蔵下	公民館前	〃11・30
長面	バス停留所前	〃1・50
八田	〃	〃2・05
富田	公民館前	〃2・30
上山内	バス停留所前	〃3・10
下山内	〃	〃3・45

▽5月18日

五城目地区

広ヶ野	伊藤商店前	前9・00
田町	佐々木菓子店前	〃9・20
仲町	福田大太郎宅前	〃10・00
築地町	電報電話局前	〃10・20
畑町	神明社前	〃11・00
雀籠町	坂谷商店前	〃11・30
新町	菊地製材所跡	〃1・30
古川町	仲よし前	〃2・00
新畑町	保育園前	〃2・30
矢場崎	本間商店前	〃3・00

▽5月19日

内川・森山・大川地区		
浅見内	猿田忠治郎宅前	前9・00
湯ノ又・小川口	〃	〃9・20
湯ノ又公民館前	〃9・40	
黒土	バス停留所前	〃10・00
小倉	公民館前	〃10・30
岡本二區	野田入口	〃10・50
岡本一區	森山公民館前	〃11・10
浦横町	公民館前	〃11・30
大川	農協前	〃1・20

▽5月20日

馬場目地区

北ノ又・蛇喰	金沢良蔵宅前	前9・00
落合	金沢康太郎宅前	〃9・25
杉沢	杉沢診療所前	〃9・50
坊井地	金沢四郎宅前	〃10・20
恋地上	バス停留所前	〃10・35
中	〃	〃10・50
下佐々木太郎宅前	〃11・15	
水沢	バス停留所(下)前	〃11・20
平ノ下	部落公民館前	〃1・35
中村	〃	〃1・50
寺庭	石井理吉宅前	〃2・10
蓬内台	馬場目児童館前	〃2・30
門前	門前公民館前	〃2・50
帝釈寺	草皆賀宅前	〃3・30

▽5月21日

馬川地区

館越	バス停留所前	前9・30
久保	公民館前	〃9・50
高崎上	坊村橋	〃10・10
中	館岡物産前	〃10・30
下	集会所前	〃10・50
上樋口	公民館前	〃11・30
岩城町	老人ホーム前	〃1・50
樋口・中川原	〃	〃2・10
二田農機工場前	〃2・30	
館町	児童館入口	〃3・10

成人病検診の申込み

成人病検診(循環器、胃腸、婦人病)の受診の申し込みを受け付けています。
循環器検診は六月二十八日から胃腸検診は六月一日から、婦人病検診は六月八日から地区ごとに行う予定ですが、受診申し込み者には実施日程などについてお知らせします。

危険物取扱者 試験の講習会

昭和五十七年度一回目の危険物取扱者試験は七月二十三日(金)に予定されています。これに伴う講習会は次のとおりです。

▽期日

乙種四類 六月二十二日、二十三日

丙種 六月二十四日 (二日間)

会場 秋田県正庁

申込み期間 五月十四日～五月二十一日 (消印有効)

受講申込用紙、講習会に使用するテキストの用紙は消防署にあります。詳しいことは消防署(電話2028)にお問い合せください。

社交ダンスパーティー

「ひまじんBANK」では、社交ダンスパーティーを開きます。

▽日時 六月十三日(日) 午後六時半

▽場所 町民センター(四階)

▽会費 三千円

▽前売券発売所 高津酒屋 電話22262

えびや洋品店 電話22354 (当日券はありません)

▽問合せ先 原田功輝 電話42226

▽受診料金	
・循環器	自己負担 七三〇円
・胃腸	自己負担 一四七〇円
・婦人病	自己負担 七五〇円
町補助	一五五〇円
町補助	八五〇円
町補助	一七五〇円